

市町村名	伊江村							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-①	伊江村ハブ対策事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(7)-イ		
担当部課名	建設課	事業実施 (予定)年度	平成27年度～令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	快適な生活環境の形成		
事業内容	本村に生息するハブによる健康被害から、村民及び観光客を守るため、生息地となっている観光地や海岸沿いの清掃を行い、ハブが住処を作りにくい環境を整備する。また、捕獲器を設置しハブの捕獲駆除に取り組む。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	6,000	6,000	6,300	6,600	6,600	
		(b)予算現額	5,079	5,599	5,489	5,610	5,390	
		(c)増減額(b-a)	-921	-401	-811	-990	-1,210	
		(d)繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計(b+d)	5,079	5,599	5,489	5,610	5,390	
	B. 執行済額		5,079	5,599	5,489	5,610	5,390	
	うち交付金充当額		4,063	4,479	4,391	4,488	4,312	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		予算の範囲内で適正な執行を行った。入札残により1,210千円減額となった。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	ハブ生息地の清掃実施 (26,000㎡清掃)		目 標	(生息地清掃)	(生息地清掃)	(生息地清掃)	(生息地清掃)	
			実 績	清掃完了	清掃完了	清掃完了	清掃完了	
	捕獲器の設置 (15基設置)(R4年度から20基設置)		目 標	(捕獲器設置)	(捕獲器設置)	(捕獲器設置)	(捕獲器設置)	
			実 績	設置完了	設置完了	設置完了	設置完了	
	巡回管理(週1回)		目 標	(巡回管理)	(巡回管理)	(巡回管理)	(巡回管理)	
実 績			巡回管理実施	巡回管理実施	巡回管理実施	巡回管理実施		
達成 状 況 説 明	・ハブの生息地の清掃を行うことにより、観光地の広範囲で安全対策に繋がった。 ・令和6年度において本事業のハブ捕獲器設置によるハブ捕獲実績は0匹であった。 ・引き続き、区長会や村民によるハブ目撃情報の収集を行い委託業者と情報を共有し捕獲実績を上げたい。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	ハブ咬傷による被害件数0件		目 標	()	(0件)	(0件)	(0件)	(0件)
			実 績		0件	0件	0件	0件
	進 捗 状 況 説 明	・平成28年度においては、ハブ咬傷被害件数は0件で成果目標を達成しているが、平成29年度、30年度、令和元年度において(いずれも本事業実施期間中)各1件つつハブによる咬傷被害が発生していましたが、令和2年度から令和6年度まで5年連続でハブ咬傷被害件数は0件と成果目標を達成できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・これまでの清掃業務は除草作業が主で実施していたが、樹木の剪定、枝打ちなどを行ったことで、フェンス外からハブの侵入を阻止できたものと思われるが、隣接する別の敷地の草木が繁茂して来ており、ハブの侵入や住処にならないか懸念している。 ・ハブフェンスゲートを数日間開放した状況がみられたので管理を徹底する必要がある。	・捕獲器の改良(侵入口の取替)や数を増やすなどで捕獲数を上げたい。 ・ハブ目撃現場付近の清掃及び除草作業を呼びかけ又は実施し、ハブの住処を排除する。また、集中的に捕獲器を設置し捕獲率を上げたい。
今後の取り組み方針		
・青少年旅行村においては多くの観光客や村民が利用する場所であることから、管理委託業者や隣接する地主と連携を密にし清掃・捕獲の効率化と安全対策を図っていく。 ・捕獲業務においては、ハブ捕獲器の改良(入口取替)を試験的に実施し捕獲率の向上を図りたい。また、、目撃現場に集中的に捕獲器を設置して捕獲率を上げたい。。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,390</td><td>5,390</td><td>4,312</td><td>1,078</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,390	5,390	4,312	1,078	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,390	5,390	4,312	1,078	0										
伊江村 5,390千円 → 委託料 5,390千円 → 島幸建設㈱ (清掃・捕獲業務) 5,390千円 〔伊江村ハブ対策事業 (清掃・捕獲業務)〕														
資金の 使途の 流れ、 検 査 費 目・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○選定方法として指名競争入札を執行していることから妥当であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、設計書をもとに予定価格を設定し執行していることから妥当であったと考える。(土木単価+見積)											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○業務後の検査において、書面及び現場確認検査を実施し、適正に事業を執行していると判断されたことから、事業目的に即した費目及び使途であったと考える。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊江村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	伊江村自動車航送コスト負担軽減事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-ア	
担当部課名	公営企業課	事業実施(予定)年度	平成26～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減	
事業内容	Ⅲ-9						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算の状況	(a)当初予算額	15,170	15,170	16,072	16,072	16,072
		(b)予算現額	14,595	14,666	15,775	16,072	16,999
		(c)増減額(b-a)	-575	-504	-297	0	927
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	14,595	14,666	15,775	16,072	16,999
	B.執行済額		14,462	14,581	15,775	16,263	16,999
	うち交付金充当額		11,569	11,664	12,620	13,010	13,599
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.1%	99.4%	100.0%	101.2%	100.0%
予算の状況の説明		当初19,600台程度の補助を予定していたが、事業が定着していることや車両航送予約システムの利用増による手軽さから、観光業や帰省等の利用者の増加により、970千円の増額補正となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	車両航送に対する運転手1名分の運賃補助		目標 (支援実施)	(支援実施)	(支援実施)	(支援実施)	
	実績		支援実施	支援実施	支援実施	支援実施	
達成状況説明	・車両航送1台につき運転手1名分(820円)の補助を行った。 ・平成26年度から事業を開始し、令和元年度までは航送実績が増加傾向にあり、令和2年度から令和4年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う来島自粛要請等により、減少傾向であった。 ・令和5年度は、新型コロナ禍が明けたことから観光業や帰省等の利用者が増加した。 ・令和6年度は、事業の定着化や車両航送予約システムの利用手軽さから利用者が増加した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、村民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標 ()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)
	実績			100%	100%	100%	100%
	進捗状況説明	本事業へのアンケート調査を行った結果、移動しやすい環境になったかの問いに「とても実感している」、「やや実感している」との回答が80%以上となっている。また、今後も継続してほしいとの回答が100%となっており、住民への負担軽減が定住条件の必須事項であり、住みよい村づくりへ繋がっているものと考える。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化） ・本事業の浸透により、対象件数は減少しているが、未だ離島住民割引カードの利用有効期限切れにより、チケット購入時に正規価格で購入せざる負えない状況がある。 ・車両航送予約システムの活用により、スムーズな車両航送予約ができてい。しかし、航送の30分前には所定の場所で待機するよう村HPや防災無線等で周知を図っているが、未だ駆け込み乗船が見受けられる。	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点） ・利用有効期限更新の申請方法や申請時期などの周知を定期的に行う必要がある。 ・車両航送に係る留意事項について、村HPだけではなく、村内防災無線や公式SNS等を活用し村民や観光客への継続した周知徹底を図っていく。
	今後の取り組み方針 ・引き続き村ホームページ及び広報誌、村内防災無線等により当該事業の継続実施や、離島住民割引カードの新規、更新申請方法について、地域住民へ周知するとともに、本島へ移動しやすい環境の構築を図る。	

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象 事業費			交付対象 外経費
		交付金 充当額	市町村 負担金	
16,999	16,999	13,599	3,400	0

```

graph LR
    A[伊江村  
16,999千円] --> B[補助金  
16,999千円]
    B --> C["伊江村  
（公営企業課）  
16,999千円"]
    subgraph D [ ]
        direction TB
        E[補助金  
車両航送に対する補助]
    end
  
```

市町村名	伊江村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	村花・世界のゆり植栽推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ		
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24年～令和13年	沖縄振興基本方針該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	良質なゆりの球根を購入し、村花であるてっぽうゆりと多彩な世界のゆり球根を確保し植栽することで、「夕日とロマンのフラワーアイランド」を推進し、花の島づくりによる景観形成を図り、地域活性化と観光振興を図ることができる。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算の状況	(a)当初予算額	4,000	4,000	4,000	4,000	5,700
		(b)予算現額	3,652	3,960	3,980	3,982	5,197
		(c)増減額(b-a)	-348	-40	-20	-18	-503
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	3,652	3,960	3,980	3,982	5,197
	B.執行済額		3,652	3,960	3,980	3,982	5,198
	うち交付金充当額		2,921	3,168	3,184	3,185	4,158
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		予算の範囲内で適正に執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	ゆりの球根購入・植栽 テッポウユリ 52,000球 世界のゆり 38,000球	目 標	ユリの球根購入・植栽 90,000球	ユリの球根購入・植栽 90,000球	ユリの球根購入・植栽 90,000球	ユリの球根購入・植栽 90,000球	
		実 績	ユリの球根購入・植栽 82,250球	ユリの球根購入・植栽 90,000球	ユリの球根購入・植栽 90,000球	ユリの球根購入・植栽 90,000球	
達成状況説明	・テッポウユリ球根52,000球、世界のゆり球根38,000球を購入し、ゆり祭り会場であるリリーフィールド公園及び観光地並び沿道等へ植栽した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(R7年度)
	第27回伊江島ゆり祭り来場者数 R6年 20,000人	目 標	(33,000人)	(35,000人)	(33,000人)	(20,000)	(20,000人)
		実 績		祭り規模縮小 4,500人	4年ぶり通常開催 28,000人	9日間開催 12,300	
	進捗状況説明	・第27回伊江島ゆり祭りは、9日間の通常開催することができた。期間中には多くの来場者が訪れ、テッポウユリや世界のゆり100種を観賞していた。フェリーの乗船制限があり、会場へ来れない来場者も多かったが、ゆり祭りの魅力を伝えることが再確認できた。次年度以降も根強いリピーターを確保するために、工夫した植栽管理を行う。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・物価高騰により球根の単価が高上していることから、球根選定を慎重にする必要がある。 ・てっぽうゆりの球根数が生産減少していることから、体制づくりが必要となる。 ・開催期間が1週間減少したことが成果目標を達成できなかった要因だと考えられる。マラソン大会との期日の関係上9日間となった。	・種類が多くあるため、予算の範囲内で球根選定する必要がある。 ・球根の生産体制づくりについて、強化を図る。 ・今後も引き続き新品種の導入に向けた球根選定を行い、継続して観光誘客の向上に繋げる取り組みを行う。 ・ゆり祭り開催時期に合わせ植え付けを行い、期間中に開花できるよう調整を図る。
今後の取り組み方針		
・早めに球根の選定を行い、予算の範囲内で発注できるようにする。品種により植え付け時期や開花時期が異なるため、祭り開催期間に合わせて植え付けを行う。 ・テッポウユリ球根の生産体制づくりを図るよう調整する。 ・購入したい品種の選定、数量を早めに決定する。 ・継続して新品種を導入することで、ゆり祭りの魅力を更に向上させ観光誘客に繋げる。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)																	
<table><tr><td rowspan="2">総事業費</td><td rowspan="2">交付対象事業費</td><td>交付金</td><td rowspan="2">市町村負担金</td><td rowspan="2">交付対象外経費</td></tr><tr><td>充当額</td></tr><tr><td>5,198</td><td>5,198</td><td>4,158</td><td>1,040</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金	市町村負担金	交付対象外経費	充当額	5,198	5,198	4,158	1,040	0		
総事業費	交付対象事業費	交付金	市町村負担金	交付対象外経費													
		充当額															
5,198	5,198	4,158	1,040	0													
<table><tr><td rowspan="4">伊江村 5,198千円</td><td rowspan="2"></td><td>原材料費 4,444千円</td><td>合同会社 新緑園 4,444千円</td><td rowspan="4"> 球根購入・植栽 てっぽうゆり球根 52,000 球 世界のゆり球根 38,000 球 合計 90,000 球 </td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2"></td><td>備品購入 754千円</td><td>ヤンマー沖縄(株) 754千円</td><td rowspan="2">ロータリー1台購入</td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>					伊江村 5,198千円		原材料費 4,444千円	合同会社 新緑園 4,444千円	球根購入・植栽 てっぽうゆり球根 52,000 球 世界のゆり球根 38,000 球 合計 90,000 球				備品購入 754千円	ヤンマー沖縄(株) 754千円	ロータリー1台購入		
伊江村 5,198千円		原材料費 4,444千円	合同会社 新緑園 4,444千円	球根購入・植栽 てっぽうゆり球根 52,000 球 世界のゆり球根 38,000 球 合計 90,000 球													
		備品購入 754千円	ヤンマー沖縄(株) 754千円			ロータリー1台購入											
資金の 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明													
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○契約した業者は、てっぽうゆり及び世界のゆり球根を生産・調達できる村内唯一の業者となっているため妥当である。備品購入は指名競争入札のため妥当である。 ○球根数は、公園内外で使用するため妥当である。 ○費目、使途については事業目標達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認し、必要なものであったと判断した。													
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。															
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。															
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。															

市町村名	伊江村							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-②	観光地クリーン事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ		
担当部課名	商工観光課	事業実施 (予定)年度	平成27年～令和13年		沖縄振興基本方針 該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	魅力的な観光地として景観形成及び観光客数の維持・増加を図る為、観光地の美化及び保全をし、観光客の受け入れ体制を強化する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	51,700	54,000	55,000	54,000	50,000	
		(b)予算現額	51,700	52,690	52,900	52,800	49,467	
		(c)増減額(b-a)	0	-1,310	-2,100	-1,200	-533	
		(d)繰越額	0	0	0	0	0	
		A.計(b+d)	51,700	52,690	52,900	52,800	49,467	
	B.執行済額		51,700	52,690	52,900	52,800	49,467	
	うち交付金充当額		41,360	42,152	42,320	42,240	39,573	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		当初予算額より533千円の減額については、入札執行に伴う減額。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
	・観光地環境美化保全 【主な美化保全観光施設】 リリーフィールド公園、伊江村青少年旅行村、 城山、ミースイ公園、ニャティヤ洞、湧出、ニハ ナ森公園・芳魂の塔周辺、伊江港ターミナル周 辺 ・乗用芝刈機1台購入		目 標	(8か所)	(8か所)	(8か所)	(7か所)	
			実 績	8か所	8か所	8か所	7か所	
達成 状 況 説 明	今年度も引き続き、観光地等における美化作業及び緑化木管理等を民間事業者へ委託業務を行った。 課題であった効率化も定期的に管理を行うことが出来たため、安定した景観向上に寄与することができている。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)	
			目 標	(70%)	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
	魅力的な観光地として景観形成が図れたか (80%以上)を含め、アンケートにより、本事業 のあり方について検証する。		実 績		100%	100%	100%	
	進 捗 状 況 説 明	観光客に対して、アンケート調査を実施した結果、景観形成が図られたとの回答が約90%であり、目標値の80%以上を達成することができた。						

	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
取組の検証	・草の伸びる時期が春先から夏場は重なるため、作業量の増及び効率化が必要。 ・取り組み実績を把握するため、適宜現場での立ち合い、写真管理等により現場状況をしっかりと把握する必要がある。 ・機械化により効率が良くなる半面、安全管理を徹底し、事故の無い安全な現場管理に努めるよう促す。	・春先から夏場の除草管理について、人員増員又は重複する作業箇所回数の減少により、解決可能か検証する。 ・機械化の導入により効率化が図れることから、乗用芝刈機の購入を検討する。 ・台風等の災害が起こった場合は、復旧における業務の範囲を事前に確認し、効率よく復旧作業に取り組める準備をしておく。 ・機械化による安全管理の徹底を促し、事故の無い業務執行に努める。
今後の取り組み方針		
・作業箇所8カ所の作業回数をそれぞれ見直すことで、繁茂期に除草作業が重複しないよう効率化を図ることができるか検討する。 ・委託業務により、業務を遂行するため、適宜に現場確認や状況確認を行う。 ・観光地美化による作業日程管理、作業個所の優先順位や方法等、最適な作業効率化を図り、観光地として景観向上に引き続き取り組む。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>49,467</td><td>49,467</td><td>39,573</td><td>9,894</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	49,467	49,467	39,573	9,894	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
49,467	49,467	39,573	9,894	0										
伊江村 49,467千円 委託料 47,839千円 備品購入費 1,628千円 合同会社 新緑園 47,839千円 くみき伊江農機整備所 1,628千円 観光地管理委託 ・リリーフィールド公園 ・伊江村青少年旅行村 ・城山周辺 ・ミースイ公園 ・ニヤティヤ洞 ・湧出展望台 ・ニーバナ森公園・芳魂之塔 ・LCT被爆碑、伊江港周辺 乗用芝刈機1台購入														
資金の流 点検・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法は、プロポーザル公募型及び指名競争入札により業者を選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については事業目標達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認し、必要なものであったと判断した。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊江村										
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	3-③		観光誘客整備事業				新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第4章-3-(2)-ウ		
担当部課名	商工観光課			事業実施(予定)年度	平成26年度～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所		多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	伊江村への観光誘客を図るため、イベント及びプロモーション活動を実施するとともに、観光案内人を配置し、来島者の利便性を確保する。										
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)										
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 ■負担 □その他()										
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度				
	予算の状況	(a)当初予算額	49,298	30,895	48,083	39,058	21,081				
		(b)予算現額	47,114	22,371	14,348	44,104	19,939				
		(c)増減額(b-a)	-2,184	-8,524	-33,735	5,046	-1,142				
		(d)繰越額	0	0	0	0	0				
		A.計(b+d)	47,114	22,371	14,348	44,104	19,939				
	B.執行済額		47,114	21,368	14,348	44,104	19,939				
	うち交付金充当額		37,690	17,094	11,478	35,283	15,951				
	次年度繰越額		0	0	0	0	0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%	95.5%	100.0%	100.0%	100.0%				
予算の状況の説明		各種事業において、予算の範囲内で適正に執行できた。									
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)			達成状況							
					R3年度	R4年度	R5年度	R6年度			
	・観光誘客プロモーション事業	目標	()	(観光インフォメーション委託業務)	(観光インフォメーション委託業務)	(観光インフォメーション委託業務)					
		実績		業務完了	業務完了	業務完了					
	イベント事業の実施	目標	()	()	()	(事業実施)					
		実績				事業実施完了					
	観光名所整備の実施	目標	()	()	()	(整備実施)					
		実績				整備実施完了					
	観光誘導サイン整備の実施	目標	()	()	()	(実施設計)					
		実績				実施設計完了					
達成状況説明	観光誘客プロモーションについては2回を予定していたが、1回のみの実施となった。観光親善大使記念、浜名湖花博2024、観光インフォメーション委託業務、観光PR映像制作委託業務、観光名所整備委託業務、観光誘導サイン整備工事実施設計業務においては、予定通り達成することが出来た。										
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)				基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)		
	①伊江村の入域観光客数	目標	()	()	()	(13万人)	()				
		実績				93000人					
	②本事業について、観光客へアンケート調査を実施し、利便性(満足度)が確保されたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方を検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()				
		実績		100%	100%	100%					
	進捗状況説明	・入域観光客数については、コロナ前が12万人だったことからそれを上回る予想をしていたが、コロナ後はなかなか客が戻らず、目標を下回る結果となった。 ・観光客等へのアンケートを実施し、利便性(満足度)が確保されているというアンケート結果となった。									

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・コロナ禍において観光客数が激減し、コロナ後も通常のイベント等を開催してコロナ前の水準まで回復すると見込んでいたが、目標を達成することができなかった。 ・関東圏でプロモーション活動を実施し、「伊江島」を知っている方が圧倒的に少なく、認知度向上に努める必要があると考えられる。	・新規のイベントや観光客向け商品券の発行など村独自の取り組みを実施し、入域観光客数の増加につなげる。 ・県外でのイベントを継続して実施し、伊江村の知名度向上を図り、通年を通して観光誘客を図る。
今後の取り組み方針		
・引き続き、多様なメニュー開発に取り組み、開発した観光メニューの活用に向けて村の公式SNSや観光協会のホームページでの情報発信を強化する。 ・今回新たに整備した観光PR動画を活用し、観光名所や施設の機能強化を図り、更なる観光誘客に取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
		19,939	19,939	15,951	3,988	0
伊江村 19,939千円	報償費 634千円	キッズダンスサークル 40千円	〔観光親善大使就任記念 オープニングダン〕			
		玉城博文 154千円	〔観光親善大使就任記念 音響従事〕			
		エンターサポート 40千円	〔観光親善大使就任記念 司会者〕			
		エヌキューブ 400千円	〔観光親善大使就任記念 出演者〕			
	旅費 1,550千円	伊江村青年会、緑十字機関係者 1,513千円	〔浜名湖花博2024 芸能ステージ〕			
		エヌキューブ 37千円	〔観光親善大使就任記念 出演者〕			
	需用費 3,272千円	株式会社ちとせ印刷 2,123千円	〔伊江村PR用消耗品費〕			
		有限会社サンエス 1,149千円	〔伊江村PR用消耗品費 伊江島特産品ガイドブック、チラシ、ポスト〕			
	役務費 220千円	北部港運株式会社 220千円	〔浜名湖花博2024ハイビスカス輸送代〕			
	委託料 14,263千円	一般社団法人伊江島観光協会 3,368千円	〔伊江島観光インフォメーション委託業〕			
		一般社団法人伊江島観光協会 932千円	〔関東圏プロモーション活動委託業務〕			
		株式会社MARUKIN 1,599千円	〔伊江村観光PR映像制作委託業務〕			
		合同会社新緑園 5,977千円	〔伊江村観光名所整備委託業務〕			
		株式会社シビルエンジニアリング 2,387千円	〔観光誘導サイン整備工事実施設計業〕			

資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札やプロポーザル方式等で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については目的に即した事業内容で実施されていることから、適正であると考えている。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊江村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-④	ゆり祭り活性化推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
担当部課名	商工観光課	事業実施 (予定)年度	令和6年度～令和14 年3月	沖縄振興基本方針 該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	本事業は、地域の観光振興を目的として、祭りの円滑な運営と来訪者の利便性向上を図るものである。 祭りにおけるイベントの一部を専門業者へ委託することで、質の高い演出や企画運営を実現し、また混雑する本部港や会場周辺の駐車場 管理及び誘導業務に警備員を配置し、安全かつスムーズな交通整理を行った。さらに、伊江港から会場までを結ぶ無料シャトルバスを運行 することで、来訪者の移動の利便性を高めた。 これらの取り組みにより来場者の満足度が向上し、リピーターの醸成に繋がったほか、周辺の飲食店・宿泊施設への経済効果も期待され、 地域全体の観光振興に寄与する事業となった。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R6年度				
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	26,500				
		(b)予算現額	26,467				
		(c)増減額(b-a)	-33				
		(d)繰越額					
		A. 計(b+d)	26,467				
	B. 執行済額		26,467				
	うち交付金充当額		21,174				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		予算の範囲内で適正に執行できた。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R6年度				
	①伊江島ゆり祭りイベント誘客委託業務	目 標	(イベント誘客委託)		()	()	
		実 績	イベント誘客委託完了				
	②伊江島ゆり祭り会場等送迎バス委託業務	目 標	(送迎バス委託)		()	()	
		実 績	送迎バス委託完了				
	③伊江島ゆり祭り駐車場等警備委託業務	目 標	(駐車場警備委託)		()	()	
		実 績	駐車場警備委託完了				
	達成 状況 説明	全ての事業において、予定通り達成することが出来た。					
	成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R6年度		目標値 (年度)
令和6年度第27回伊江島ゆり祭り来場者数		目 標	()	(30,000)	()	()	
		実 績		13,000			
【参考指標】 令和5年度第26回伊江島ゆり祭り来場者 数 28,000人		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
進 捗 状 況 説 明		ゆり祭り期間が令和5年度の16日間(28,000人/16日=1,750人)から令和6年度は、9日間(13,000人/9日=1,444人)に変更した事により、来場者数が減となったが、1日あたりに換算すると目標の82%との達成となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) ・物価高騰や人件費の高騰で業務委託料の予算編成を早めにする必要がある。 ・来場者が安心・安全に祭りを楽しんでもらうために、各種業務内容をしっかりと調整を図り、事業実施に向け取り組む。 ・ゆり祭り期間が減少した事により、観光客の入域者数が減少し、成果目標を達成することができなかったが、1日あたりの入域数は増加傾向にある。	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) ・イベント委託については、早い段階で業者選定を行い、魅力的なイベント開催ができるよう調整を図る。 ・警備については、本部港での駐車場整理及び人流誘導を安全に実施するため、関係各位と密に打ち合わせ及び連携を図る。 ・送迎バスについては、運行ダイヤや運行ルートの確保、運行台数等を見極め、適正な運行実施に努めるよう計画的に実施する。
	今後の取り組み方針 ・伊江島ゆり祭りは、村の一大イベントとして欠かすことのできないイベントであることから、事業実施に向け関係各位又はアンケートによる改善点を見直し、毎年より良い運用に向け取り組みを図る。各委託業務においても、改善点を解消していく取り組みを図ることで、ゆり祭りによる経済効果が図られ、リピーター増加による安定的な観光振興を図ることができる。	

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
伊江村 26,467千円 委託料 26,467千円 有限会社ワールドイベントコーポレーション 14,976千円 伊江島観光バス株式会社 5,995千円 CBS株式会社 5,496千円 (伊江島ゆり祭りイベント誘客委託業務) (伊江島ゆり祭り会場等送迎委託業務) (伊江島ゆり祭り駐車場等警備委託業務)				
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額 市町村負担金 交付対象外経費
		26,467	26,467	21,174 5,293
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○委託事業者は一般競争入札やプロポーザル方式等で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		○費目、使途については事業目標達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	伊江村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	④-1	確かな学力を育む学習支援員配置事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア		
担当部課名	伊江村教育委員会教育行政課	事業実施 (予定)年度	平成25年度～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	確かな学力を身に付ける学校教育の充実 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	小中学校への免許外教科担当者の解消と専科教諭の配置、児童生徒1人1人に「確かな学力」を身に付けさせるための学習支援員の配置、更には発達障害など様々な障害がある児童生徒に対し特別支援教育支援員などの配置を行い、自立していくための土台づくりを行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 ■負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	22,134	28,750	30,440	31,964	34,168
		(b) 予算現額	27,077	27,868	26,418	22,446	40,111
		(c) 増減額(b-a)	4,943	-882	-4,022	-9,518	5,943
		(d) 繰越額				0	0
		A. 計(b+d)	27,077	27,868	26,418	22,446	40,111
	B. 執行済額		27,077	27,868	26,418	22,446	40,111
	うち交付金充当額		21,661	21,622	21,134	17,957	32,088
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		当初3学校4名の計12名を配置することが出来、給与改定等もあり、当初予算よりもオーバーしてしまった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	小学校(2校7人配置)	目 標	(2校6名)	(2校8名)	(2校8名)	(2校7名)	
		実 績	2校8名	2校8名	2校6名	2校8名	
	中学校(1校3人配置)	目 標	(1校3名)	(1校3名)	(1校4名)	(1校3名)	
		実 績	1校4名	1校3名	1校4名	1校4名	
達成 状況 説明	学習支援員配置については、人員も確保でき目標人数達成できた。そのため、本務教諭と連携をとりながら児童生徒に合わせた学習支援をおこなうことができた。						

成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	目 標		()	県平均正答率との差、 小学校5ポイント以上 中学校3ポイント以上	県平均正答率との差、 小学校5ポイント以上 中学校3ポイント以上	県平均正答率との差、 小学校5ポイント以上 中学校3ポイント以上	県平均正答率との差、 小学校5ポイント以上 中学校4ポイント以上
	実 績			県平均正答率との差 ○小学校3年 ○小学校4年 小3小4においては コロナウイルス感染 症の影響により未実 施。 ○小学校5年 国語-8 算数-11 ○小学校6年 国語-10 算数-7.9 ○中学校1年 国語-3.3 数学+ 12.5 英語+10.7 ○中学校2年 国語+9 英語+3.1 数学-8	※R5の県到達度調 査は小5～中2にて 実施された。 ○小5 国-6.5、算-6.1 ○小6 国+1.8、算+1.3 ○中1 国-8.1、数-14.6、 英-2 ○中2 国-7.7、数+1、 英-1.8	※R5の県到達度調 査は小5～中2にて 実施された。 ○小5 国-5.0、算-1.4 ○小6 国-7. 算-8.2 ○中1 国-7.4、数-8.2 英+4.8 ○中2 国-6.3、数-17.4 英-7.8	※R5の県到達 度調査は小5 ～中2にて実施 された。 ○小5 国-1.5、算+1.7 ○小6 国+1.4、算+9.7 ○中1 数+2.4 英+3.1 ○中2 国-4.5、数+1.4 英+0.2
進 捗 状 況 説 明		2月に実施の県到達度調査では、小学5年生と中学2年生の国語以外の科目において県の平均を上まわる成果となった。 中学2年の国語の結果は前年度より県との差を-3P縮めている。 各学校、各教科において授業改善や手厚い指導の成果が見られ、県平均との差は縮まってきている。 引続き授業者との連携を更に密にしながら、児童生徒の学力向上に取り組んでいく。					

取組 の 検 証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	○教科によって苦手意識を抱えている児童生徒に対する支援の方法について、担任と共通理解を図りながら支援する体制を構築・実践し、授業内での理解はできているが、復習等の取組みの弱さから、学習の定着には至っていない。	○目標は達成できなかった学年もあるが、数値から、少しずつではあるが着実に学力が身についてきている。 ○引き続き授業改善に努めていくとともに、授業者と支援教諭が協力し、困り感のある児童生徒に対する支援体制の強化と、学習の定着を図るための方策について担任と学習支援教諭が協議し、チームで取り組んで行く。
今後の取り組み方針		
○村主催の「学習支援教諭研修会」において、困り感のある児童生徒へのアプローチや支援方法の成功事例の共有を図り、児童生徒への個に応じた支援方法の実践を図る。 ○村教委と各学校の管理職、担任と学習支援教諭の連携を重視し、学習の進度や児童生徒の学習意欲の向上を図るとともに、自立した学習者の育成を目指す。 ○学習支援教諭の安定的な人材の確保に努め、資質向上に資する研修の機会を保障することで、児童生徒の学力の向上を支えていく。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
40,111	40,111	32,088	8,023	0

伊江村
40,111千円

会計年度任用職員報酬・給料
40,111千円

中学校学習支援員4人給料・期末手当
小学校学習支援員8人報酬・期末手当

資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、伊江村会計年度任用職員の給与の決定及び支給等に関する規則に基づき、有資格者等を適正に選定、任用しており妥当なものとする。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については当初予算を大幅に超過したが、全て執行されており適正であるものと思料する。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

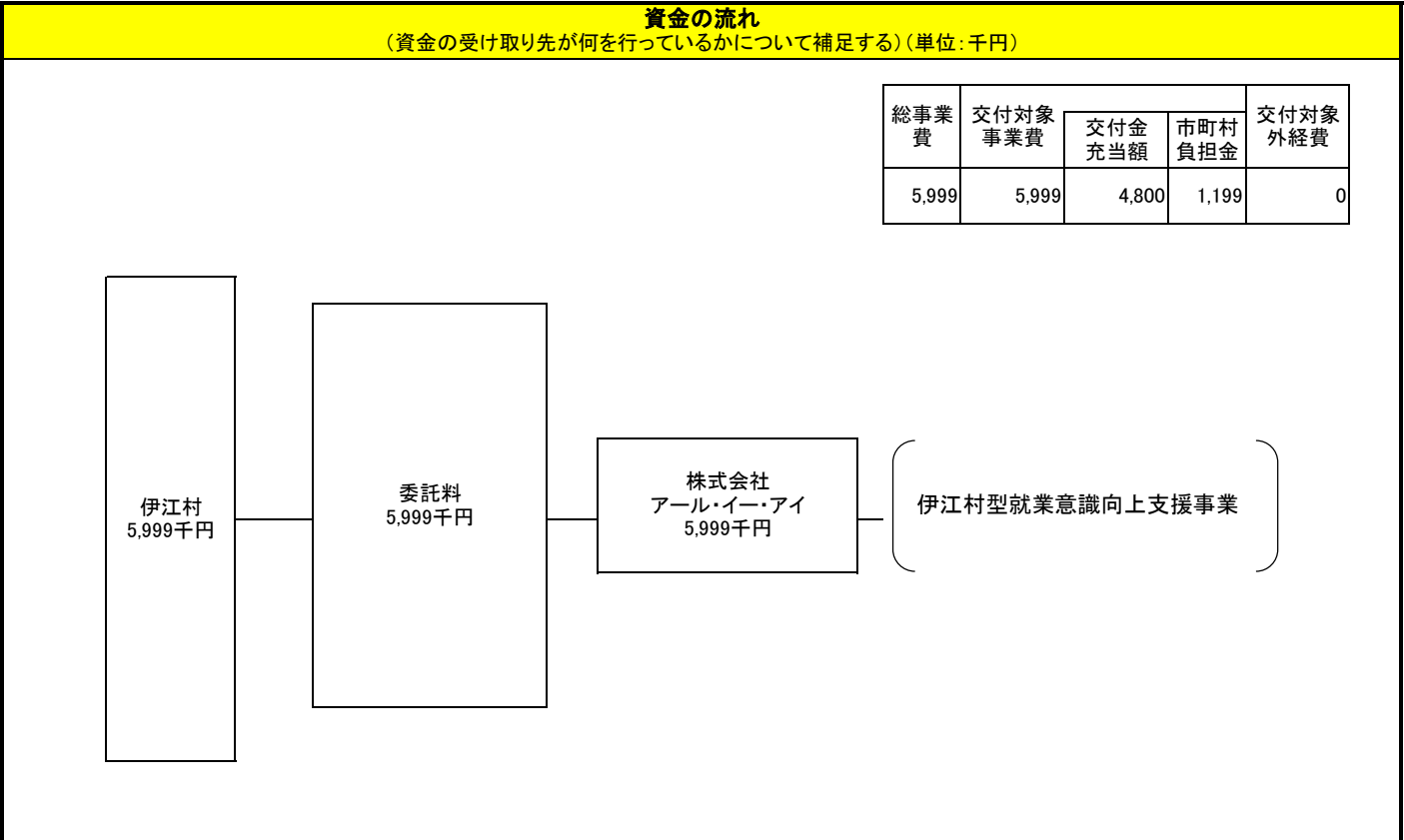
市町村名	伊江村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	④-2	各種大会派遣費助成事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア	
担当部課名	伊江村教育委員会	事業実施 (予定)年度	平成25年～令和13年 度	沖縄振興基本方針 該当箇所	公平な教育機会の確保と学習環境 の充実		
事業内容	Ⅲ-3-(1)						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	4,400	4,000	3,200	4,000	4,000
		(b)予算現額	705	2,200	2,967	3,901	3,776
		(c)増減額(b-a)	-3,695	-1,800	-233	-99	-224
		(d)繰越額				0	0
		A.計(b+d)	705	2,200	2,967	3,901	3,776
	B.執行済額		705	2,200	2,967	3,901	3,776
	うち交付金充当額		564	1,632	2,373	3,120	3,020
	次年度繰越額		0	0		0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		活動制限が緩和され、大会派遣助成が実施できたが、想定していた派遣補助額を下回り▲224千円となった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	各種大会派遣費の助成:1,550人		目 標	(派遣費の助成)	(派遣費の助成)	(派遣費の助成)	(派遣費の助成)
			実 績	助成実施	助成実施	助成実施	助成実施
達成 状況 説明	大会数が増え、児童生徒の技術力向上とともに、スポーツ面のみならず文化活動でも活躍した。 村外派遣 伊江中学校 803名、スポーツ少年団 894名						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目 標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実 績		90.10%	90%	90%	
	【参考指標】 R4年度末時点:約1,550人	目 標	()	(1550人)	(1550人)	(1550人)	()
		実 績		1,501人	1995人	1,697人	
	進 捗 状 況 説 明	保護者へのアンケートにおいて「児童生徒が広い視野を持つことができたか」の質問に対して、「思う」、「そう思う」と答えた方が90%であった。 このことから、技術力・競技力の向上や交流の機会をもつことで、村外の児童生徒に対しても臆することなく交流ができた、村内の児童生徒の視野が広がった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・各団体ともに、村外の児童生徒との交流が行われ、村内の児童生徒が広い視野を持つことで、技術力・競技力の向上が図られた。	・各種競技の申請者(中学校教員・スポーツ少年団会計担当)を集め、本事業に係る説明会を引き続き行う。対象経費に関する書類の管理や保管を共通理解を持つ。また、社会的環境においてキャッシュレス(カード払い)での精算は、本村では対象外経費として扱っているため引き続き周知する。
今後の取り組み方針		
・各種競技の申請者は、毎年度変わるため事務手続きの注意事項や本事業に係る説明会を引き続き年度始めの入団式を行う。 ・児童生徒の広い視野を持つことができたどうかの検証について、引き続き保護者アンケートで実施する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,776</td><td>3,776</td><td>3,020</td><td>756</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 伊江村 3,775千円 補助金 3,775千円 伊江村スポーツ少年団 1,769千円 伊江中学校 2,006千円 村外派遣に係る補助 船賃・車両航送料・宿泊・航空賃・交通費 村外派遣に係る補助 船賃・車両航送料・宿泊・航空賃・交通費					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,776	3,776	3,020	756	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,776	3,776	3,020	756	0										
評価	点検項目	評価に関する説明												
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	○ 支出先の選定方法は妥当か。	○[伊江村児童生徒等の大会派遣等に関する補助金交付要綱]に沿って、補助対象者を適正選定しており、妥当であった。 ○助成対象者を適正に選定していることもあり、執行率は100%に近い数値となり、予算規模は適正であったと考えている。 ○補助金交付要綱に基づき受益者負担を設定しており妥当であった。 ○交付額の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。												
	○ 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。													
	○ 受益者との負担関係は妥当であるか。													
	○ 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。													

市町村名	伊江村							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	5-①	伊江村型就業意識向上支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(4)-ア		
担当部課名	教育委員会 生涯学習課	事業実施 (予定)年度	平成28年度～令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	多様な職業能力の育成・開発		
						Ⅲ-1-(2)		
事業内容	高校進学等のため、中学卒業と同時に親元を離れ、1人で生活することを余儀なくされる島の子どもたちへ、将来への就業意識の向上を図るため、キャリア教育や職業人講話等を実施する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	5,850	5,849	5,850	5,850	6,540	
		(b)予算現額	5,234	5,849	5,803	6,539	5,999	
		(c)増減額(b-a)	-616	0	-47	689	-541	
		(d)繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計(b+d)	5,234	5,849	5,803	6,539	5,999	
	B. 執行済額		5234	5,849	5,803	6,539	5,999	
	うち交付金充当額		4187	5,849	4,642	5,231	4,799	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		公募型プロポーザル方式にて業者選定を実施し、適正に執行を行った。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	小学生48名・中学生119名	目 標	(小・中対象)	(小・中対象)	(小・中対象)	(小・中対象)		
		実 績	小学生35名・中学生111名	小学生36名・中学生117名	小学生48名・中学生115名	小学生27名・中学生133名		
	企業訪問・体験1回	目 標	(訪問・体験開催)	(訪問・体験開催)	(訪問・体験開催)	(訪問・体験開催)		
		実 績	訪問・体験の実施	訪問・体験の実施	訪問・体験の実施	訪問・体験の実施		
	職業人講話3回	目 標	(講話の開催)	(講話の開催)	(講話の開催)	(講話の開催)		
		実 績	講話の開催実施	講話の開催実施	講話の開催実施	講話の開催実施		
	リーダー層育成1回	目 標	()	(リーダー層育成の開催)	(リーダー層育成の開催)	(リーダー層育成の開催)		
		実 績		中学生2名	中学生2名	なし		
達成状況説明	・小学生は村外の企業訪問の実施、村内出身者で現在企業に勤めている方5名による講話の実施、プログラミング講座の実施。 ・中学生に関しては1年生は村内職場体験、中学2年生は地域人材を活用した模擬面接の実施、卒業生による進路講演会の実施。 3年生は地域人材を活用した模擬面接・夢エデュスマップの作成の実施。全生徒に対して、企業人講話を実施。 ・小学6年生と中学1年生は後日行われた発表会にて体験内容等をまとめることができた。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	・就業意識が向上したか(80%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目 標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	
		実 績		97.75%	98.25%	97%	92.30%	
	進捗状況説明	・小学生を対象に村外企業訪問、村内出身者5名による企業人講話を行い、発表会まで実施。村内外の産業を比較し、理解する機会となった。また、村内外の職業を知ること、自分の将来の姿を考えるきっかけや進路選択の幅を広げる機会となった。 ・中学1年生を対象に村内職場体験を行い、働くことへの意義について学ぶとともに、地域の方とのコミュニケーションを通して、島江の愛着を育むことができた。 ・中学生2・3年生を対象に地域人材を活用した模擬面接を行い、自己を見つめなおすとともに自分のアピールポイントを理解し、他者に伝えることができた。自身の考えを他者に伝える大切さの意識付けにつながった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・小学生のキャリア教育については、村外企業訪問、村内出身者5名による企業人講話を行い、発表会まで実施したことで、村内外の産業を比較し、理解する機会となった。また、村内外の職業を知ること、自分の将来の姿を考えるきっかけや進路選択の幅を広げる機会となった。 ・中学生において、中学1年生を対象に村内職場体験を行い、働くことへの意義について学ぶとともに、地域の方とのコミュニケーションを通して、島江の愛着を育むことができた。 ・中学生2・3年生を対象に地域人材を活用した模擬面接を行い、自己を見つめなおすとともに自分のアピールポイントを理解し、他者に伝えることができた。自身の考えを他者に伝える大切さの意識付けにつながった。 ・成果目標達成について、委託事業者・教育委員会・学校において十分に連携し、事業を実施できたことが要因と考えられる。	・今後も、教員と連携を図ることでより適切な学習支援を行うことができると考えられるため、プログラム全体の打ち合わせや、授業ごとの細かな部分でのすり合わせを行っていくことで、児童生徒全体の就業意識の向上を図る。
今後の取り組み方針		
・同事業を継続して行っていくことで、村内の児童・生徒に対する就業意識向上に繋げ、将来の本村を担う人材育成を図る。 ・プログラム全体の打ち合わせや、授業ごとの細かな部分でのすり合わせについては、担当教員と担当者間での進捗状況等の共有、授業後に生徒の反応を踏まえ意見交換を実施する。(各々得意、不得意があるため、担当教員との意見交換を行うことで、授業のペースを調整できる。)		



資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先についてはプロポーザルにより業者を選定しており、妥当である。 ○予算規模は、全ての事業執行をしており、適正である。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊江村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-1	伊江村戦跡及び戦争記念碑等環境整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア	
担当部課名	福祉課	事業実施(予定)年度	R2年度～R7年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及	
事業内容	本村の遺跡や記念碑等を用いた効果的な平和学習が行えるよう、安心安全な施設環境を確保することで、後世へ歴史を伝える地として、平和学習の促進を図る。						
効果発現年度	□ 当年度 ■ 後年度(令和6年度)						
実施方法	□ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,000	13,000	31,600	7,120	3,500
		(b) 予算現額	4,686	13,700	27,355	8,067	2,420
		(c) 増減額(b-a)	1,686	700	-4,245	947	-1,080
		(d) 繰越額	—	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	4,686	13,700	27,355	8,067	2,420
	B. 執行済額		4,686	13,465	26,015	8,067	2,420
	うち交付金充当額		3,748	10,772	20,812	6,453	1,936
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	98.3%	95.1%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		・令和6年度は説明版の設置を行った。 ・減額の要因として当初現場技術業務(委託費)を予定していたが、建設課技術職員で対応可能であったため、発注を見送ったことが主な減額の要因である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	整備工事の実施	目 標	()	(実施)	(実施)	(実施)	
		実 績		完了	完了	完了	
達成状況説明	令和6年度は明版の設置を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	整備工事の実施完了	目 標	()	()	(完了)	(完了)	()
		実 績			完了	完了	
	【R6年度成果目標】施設利用者に対してアンケート調査を実施し、効果的な平和学習による施設利用が可能となったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目 標	()	()	()	()	(80%)
		実 績					
	進捗状況説明	令和6年度は説明版の設置を行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・令和7年度以降の駐車場等整備の在り方を検討(用地交渉において不調が出たため整備計画の検討をしていく。) ・整備後においては、平和学習等での活用方法について課題である。既存の戦跡と、一括交付金で整備した箇所の戦跡巡りのルートの検討が必要である。	・整備予定地である用地購入が難航していることから、今後も継続し交渉していく。 ・事業完了後の戦跡巡りのルート検討、平和学習等後世へ伝えるための効果的な取り組み方法について検討していく。
今後の取り組み方針		
・説明版周辺の用地交渉や代替土地の模索を引き続き継続していく。 ・説明版の整備を令和8年度までに完了する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>2,420</td><td>2,420</td><td>1,936</td><td>484</td><td>0</td></tr></table> 伊江村2,420千円 伊江村戦跡等周辺環境整備工事 2,420千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,420	2,420	1,936	484	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,420	2,420	1,936	484	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○支出先について、整備工事は指名競争入札で行っているため選定は妥当と考える。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○予算規模は、目的に即した事業内容で実施されていることから、適正であると考えている。										
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。										
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊江村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	ICT支援員配置事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア	
担当部課名	伊江村教育委員会 生涯学習課	事業実施(予定)年度	令和3年度～令和7年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Society5.0に対応する教育の推進		
					Ⅲ-3-(1)		
事業内容	学校における教員のICT機器の活用を図るため、村内の小中学校にICT支援員を配置し、教師が授業でICT機器を活用した効果的な授業が行えるよう支援する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	5,280	7,260	7,260	6,963	
		(b)予算現額	5,280	7,260	6,963	6,854	
		(c)増減額(b-a)	0	0	-297	-109	
		(d)繰越額			0	0	
		A.計(b+d)	5,280	7,260	6,963	6,854	
	B.執行済額		5280	7260	6,963	6,854	
	うち交付金充当額		4224	5808	5,570	5,483	
	次年度繰越額				0	0	
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		適正に執行を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	(80%)
		実績		小1～小3 87.8% 小4～中3 70% 平均 77.2%	小1～小3 80.5% 小4～中3 88.4% 平均 84.5%	小1～小3 80.5% 小4～中3 88.9% 平均 84.7%	小1～小3 97.3% 小4～中3 75.9% 平均 86.6%
	・教員にアンケートを実施し、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	(80%)
		実績		71.4%	64.7%	62.5	93.4
	達成状況説明	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合が86.6%、また、教員にアンケート実施し、ICT支援員の配置により、機器の習熟度が上がった・やや上がったと答えた割合が93.4%となった。 ・児童生徒、教員に対して目標に届くことができた。また、ICTを活用した授業を行うにあたって、今後も支援員による支援が必要でずかの問いに対して、66.7%が必要と答えた。今後も引き続き研修等を重ね、ICT活用を促していく。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	目標値(6年度)			
	対象者のうちおおむね肯定的であると考えられる数値として「80%以上」と設定した。	目標		(80%)			
		実績		90%			
	進捗状況説明	・児童生徒及び教員へのアンケート合計は90%となり、全体目標である80%の数値を達成することができた。今後も引き続き研修等を重ね、ICT活用を促していく。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	GIGAスクール構想に基づき整備する各種ICT機器は、電子黒板やパソコン、1人1台タブレット、高速大容量の校内ネットワークなど多岐にわたるものとなり、その運用や保守には迅速な対応が求められる。 教員の中では、ICT関係が得意、不得意な方もいることから、村独自で導入しているデジタル教材(多機能、AI型ドリル)などを用いて演習問題や習熟度に合わせて活用する様に取り組んでいるが、活用はまだバラつきが見られる。	目標達成はできているが、習熟度の個人差はまだあるので、、個人差を解消することを目的に教員の個別の研修が図れないか検討する。また、デジタル教材の使い方や導入事例などを教員の研修に組み入れることを検討する。
今後の取り組み方針		
村で導入しているデジタル教材を活用し、積極的にタブレット活用を促していく。今後は、様々な活用方法についての知識を広げることができる研修を行っていき、教員の習熟度を上げていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>6,854</td><td>6,854</td><td>5,483</td><td>1,371</td><td>0</td></tr> </table> 伊江村 6,854千円 委託料 6,854千円 株式会社アール・イー・アイ (ICT支援員) 6,854千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,854	6,854	5,483	1,371	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,854	6,854	5,483	1,371	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、実績、履行能力等を勘案し、プロポーザル方式で選定しており妥当である。 ○予算規模は、事業内容に見合った適正な規模で確保された。 ○費目・使途については、事業目的達成に必要な委託に充当し、限定されている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊江村											
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】												
事業番号・事業名	8-①		ひとり親世帯等学童利用支援事業				新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第4章-2-(1)-ウ			
担当部課名	教育委員会 教育行政課			事業実施 (予定)年度	令和4年度～令和13年 度		沖縄振興基本方針 該当箇所		ひとり親家庭等の困難を抱える 保護者への支援			
事業内容	ひとり親家庭の学童利用に係る負担軽減を図り、学童保育を利用できる環境を整え、学童利用者に対し利用料を減免した場合に補助を行う。											
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)											
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()											
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算 の 状 況		R4年度		R5年度		R6年度					
			(a)当初予算額		1,481		2,784		2,470			
			(b)予算現額		811		539		1,195			
			(c)増減額(b-a)		-670		-2,245		-1,275			
			(d)繰越額				0		0			
	A. 計(b+d)		811		539		1,195					
	B. 執行済額		811		539		1,195					
	うち交付金充当額		648		431		482					
	次年度繰越額				0		0					
	執行率(%) (B/A)		100.0%		100.0%		100.0%					
予算の状況の説明		当初に計画していた対象者19名から11名への実績に伴う、予算額2,245千円の減額した。										
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)				達成状況							
					R4年度		R5年度		R6年度			
	ひとり親家族等に対して利用料を減免した学童保育施設に対し、補助を行う。				目 標	(1園)		(1園)		(1園)		
					実 績	1園		1園		1園		
達成状況説明	利用料の減免に対する支援について、対象世帯へ1ヶ月10,000円の全額利用料免除を実施した。											
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)				R4年度		R5年度		R6年度			
					目 標	(80%以上)		(80%以上)		(80%以上)		
	安心・安全に子どもを預ける事ができ、育児の負担軽減されたか(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する				実 績	100%		100%		100%		
	進捗状況説明	学童保育を利用するひとり親家庭・非課税世帯への利用料全額免除を実施したことにより負担軽減を図ることができた。										

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・保護者の就労形態の多様化や放課後の居場所確保などの理由から学童を必要とする家庭は増加するものと思われる。 ・保護者が利用する学童へ直接申請し、学童が請求・助成を行うことにより保護者の手続きを簡略化し、保護者が学童を利用しやすい環境となっている。	今後も継続して事業を行う中でアンケートの実施を検討し、学童を利用する保護者への負担軽減を確認するとともに目標達成を継続する。
今後の取り組み方針		
4月に入ってくる申請者だけでなく、年度途中にでてくる対象者にも支援の漏れがないよう、学童クラブとの連携を図り継続的に周知を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>1,195</td><td>603</td><td>482</td><td>121</td><td>0</td></tr> </table> 伊江村 (1195千円) 青空学童 (1,195千円) ひとり親家庭等の学童クラブ利用料免除に係る補助					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,195	603	482	121	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,195	603	482	121	0										
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○[伊江村ひとり親家庭等預かり保育料補助事業実施要綱]に沿って、補助対象者を適正選定しており、妥当であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模について、当初に想定していた児童数から減数し、予算残が生じたため、次年度以降、見直しを図る。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金交付要綱に基づき受益者負担を行っており妥当であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○交付額の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。											

市町村名	伊江村							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	9-①	伊江村循環型農業促進事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ア 離島ごとの環境・特性を生かした 農林水産業の振興			
担当部課名	農林水産課 伊江村堆肥センター	事業実施 (予定)年度	R4年度～令和6年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(6)			
事業内容	堆肥製造体制を強化し、安定的な堆肥供給を行うことで循環型農業の促進を図る。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(令和7年度)							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	22,500					
		(b) 予算現額	20,900					
		(c) 増減額 (b-a)	-1,600	0	0	0	0	
		(d) 繰越額						
		A. 計 (b+d)	20,900	0	0	0	0	
	B. 執行済額		20,900					
	うち交付金充当額		16,720					
	次年度繰越額							
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		1,600千円の減額については入札執行に伴う減額。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
			R6年度					
	・堆肥散布車購入	目 標	(1台)					
		実 績	1台					
達成 状況 説明	・年度内に車両を整備した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R6年度	R7年度	R8年度	目標値 (年度)	
	・堆肥製造量 R6年 3,000t	目 標	()	(3,000t)	()		()	
		実 績		2,500t				
	進捗 状況 説明	令和6年度の成果目標として堆肥製造量を3,000tを目標としていたが2700tと未達成であった。 次年度以降には、堆肥製造の安定的な供給を行い増産計画である。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・備品購入ができ、R5年度より本格的に車両・機械を稼働し安定的な堆肥の供給を図るが、近年化学肥料の高騰により堆肥への切り替えに伴い利用者が増えると予想されることから計画的な堆肥製造が求められる。	・循環型農業を促進する上で機械導入で効率的な堆肥製造を早く確立させることを優先する必要がある。
今後の取り組み方針		
・堆肥散布車の導入により作業員の効率化を図ることで、堆肥製造に他の作業員が従事できることにより効率よく早く確立させ、効率的な製造・販売を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>20,900</td><td>20,900</td><td>16,720</td><td>4,180</td><td>0</td></tr> </table> 伊江村 (20,900千円) 備品購入費 (20,900千円) 新垣自動車工業 (20,900千円) 堆肥散布車購入業務					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	20,900	20,900	16,720	4,180	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
20,900	20,900	16,720	4,180	0										
資金の 使途の 流れ、 検 査 費 目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は指名競争入力で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模について、入札残は減額したが、すべての事業を執行している事から適正とである考える。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊江村									
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】										
事業番号・事業名	10-①		優良繁殖雌牛預託増頭支援事業				新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第4章-3-(7)-ア	
担当部課名	農林水産課			事業実施 (予定)年度	令和5年度～令和7年度		沖縄振興基本方針 該当箇所		おきなわブランドの確立と生産 供給体制の強化	
事業内容	本村における肉用牛生産業基盤の維持並びに、繁殖雌牛飼養頭数の増頭を目的として、村内の肉用牛生産者が生産する子牛の品質及びセリ販売価格向上に繋がる、優良繁殖素牛(雌子牛・初妊牛)をセリ市導入する生産者に対し、本村畜産総合施設への預託を条件に、導入価格の支援を行う。									
効果発現年度	■当年度 □後年度(令和 年度)									
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()									
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		R5年度		R6年度					
			(a)当初予算額		30,000 30,000					
			(b)予算現額		1,437 24,503					
			(c)増減額(b-a)		-28,563 -5,497					
			(d)繰越額		0 0					
			A.計(b+d)		1,437 24,503					
	B.執行済額		1,437 24,503							
			うち交付金充当額		1,149 19,602					
	次年度繰越額		0 0							
	執行率(%) (B/A)		100.0% 100.0%							
予算の状況の説明		当初予算にて30,000千円を計上し、事業実績として24,503千円の執行となり、昨年度と比較し大幅な実績増となった。理由として、昨年度までは母牛預託者のみを対象としていたが、今年度途中から子牛預託者も事業対象者としたことによる。								
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)				達成状況					
						R5年度	R6年度			
	優良繁殖雌牛(子牛・初妊牛)の計画導入補助:60頭(年間)				目 標	(30頭)	(60頭)	()	()	
					実 績	7頭	72頭			
達成状況説明		昨年度は目標未達成という結果でありましたが、今年度は伊江村畜産総合施設へ妊娠牛預託を行っている者を事業受益者と規定していた交付要綱を、預託に伴う空スペース(牛房)への増頭という観点から、子牛を預託している者(生産者)も本事業の受益者として追加する改正を行ったことで、事業受益者の増に繋がり、結果として導入目標頭数の達成ができた。								
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)					R5年度	目標値 (R6年度)			
					目 標	(30頭)	(70頭)			
	成果目標指数(年間:70頭導入)の達成				実 績	7頭	72頭			
	進捗状況説明		○県内家畜市場から72頭の新規繁殖雌牛の導入が図られた。 ○当初事業計画(導入計画)頭数目標値を達成することができた。							

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○近年、農家の高齢化に伴う畜産経営の廃業・離農が相次ぎ、経営戸数及び家畜飼養頭数の減少が問題となっている。 ○近年、家畜飼料代をはじめ、畜産資材経費の上昇が経営を圧迫しており、これに伴い子牛市場取引平均価格の下落が生じ、生産基盤の拡大が厳しい状況となっている。 ○伊江村畜産総合施設へ妊娠牛預託を行っている者を事業受益者と規定していたが、預託に伴う空スペース（牛房）への増頭という観点から、子牛を預託している者（生産者）も本事業の受益者として追加する補助金交付要綱の改正を行った。 ○事業受益者増加により目標頭数を達成できたことから、今後のセリ上場頭数の増が期待できる。	○現在、伊江村畜産総合施設へ妊娠牛預託を行っている者を事業受益者と規定しているが、預託に伴う空スペース（牛房）への増頭という観点から、子牛を預託している者（生産者）も本事業の受益者として補助金交付要綱の改正を検討していく。
今後の取り組み方針		
R7年度も今年度同様60頭の優良繁殖牛（子牛・初妊牛）を導入予定		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>24,503</td><td>24,503</td><td>19,602</td><td>4,901</td><td>24,504</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	24,503	24,503	19,602	4,901	24,504
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
24,503	24,503	19,602	4,901	24,504										
伊江村 優良繁殖雌牛 預託増頭支援事業補助金 24,503千円 補助金 24,503千円 伊江村和牛改良組合員(受益者) 事業費：24,503千円 交付金：19,602千円 市町村：4,901千円 優良繁殖雌牛預託増頭支援事業補助金 受益者数：22名 導入頭数：72頭 新規繁殖雌牛1頭増頭毎に、 購入価格(セリ価格)の1/2上限500千円、 ほか、受益者負担：24,504千円 (※交付対象外経費)														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業主体は、本事業の交付対象要件を満たす唯一の団体であり、選定は妥当だと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○県内平均セリ価格40万から50万となっており、導入目標頭数60頭を予定で算出すると、適正な予算規模と考えている。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○当該補助金は、消費税及び手数料、輸送費等は交付対象外と規定しており、セリ価格のみの1/2以内交付率であることから、妥当であると考える。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、補助金交付要綱に基づき補助額の確定時において支出等に関する要綱により確認した結果、適正であった。											

市町村名	伊江村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	11-①	伊江村緊急車両(水槽付消防ポンプ自動車)導入事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(4)-イ		
担当部課名	総務課	事業実施 (予定)年度	令和6年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	大規模災害等に備えた強くしなやかな県土づくりの推進		
事業内容	伊江村緊急車両(水槽付消防ポンプ自動車)を導入し、機能強化することにより、災害発生時における初動体制、防災体制の強化を図り、安心、安全に暮らせる地域づくりに取り組むことで、過疎地域における定住条件の整備を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R6年度				
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	60,000				
		(b)予算現額	45,760				
		(c)増減額(b-a)	-14,240				
		(d)繰越額	0				
		A. 計(b+d)	45,760				
	B. 執行済額		45,760				
	うち交付金充当額		36,608				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		入札執行残により14,240千円を減額。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R6年度				
	伊江村緊急車両(水槽付消防ポンプ自動車)の整備	目 標	(1台)				
		実 績	1台				
達成状況説明	適宜図面の確認を行いながら、村で作成した仕様書に沿った車両なのか中間検査を行い、消防団の意見も含めた車両が整備されている。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R6年度	目標値 (年度)		
	【R6成果目標】 消防訓練の実施	目 標	(12回)	(12回)	(12回)		
		実 績		1回			
	進捗状況説明	令和7年3月24日に納車したことで、年度内の訓練を1回実施した。 本車両の取扱訓練や、現在運用している車両と同時に運用する訓練も実施した。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	消防車両の操作方法や機器の取扱い等が旧車両と大幅に異なるため周知が必要。 車両のメンテナンスについても、1年1回交換を必要とする部品があるため周知及び対応が必要。	車両の操作方法や機器の取扱いについても、訓練が必要。 消防操法大会等を活用して当車両を使用し、訓練に努める。 メンテナンス表を作成し、故障のないよう最大限努める。
今後の取り組み方針		
今後は、消防団と連携を図りながら、迅速な消火活動及び人命救助のために訓練を密に行う。 また、火災が発生しやすい時季を迎える際には、本車両を活用し防火啓蒙活動実施する。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>45,760</td><td>45,760</td><td>36,608</td><td>9,152</td><td></td></tr> </table> 伊江村 45,760千円 備品購入費 45,760千円 株式会社 オカノ （消防車両購入費）					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	45,760	45,760	36,608	9,152	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
45,760	45,760	36,608	9,152											
資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事業内容に見合った適正な規模で確保された。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○他市町村で整備している車両と同等程度である、妥当であったと考えている。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											